

□ 次の文章を読んで、後の問に答えよ。

答はすべて解答用紙に記入せよ。

著作権の関係で、掲載できません

著作権の関係で、掲載できません

(注)※ 符牒……仲間だけに通じる合言葉・目印。

(若林幹夫『社会学入門 一歩前』による)

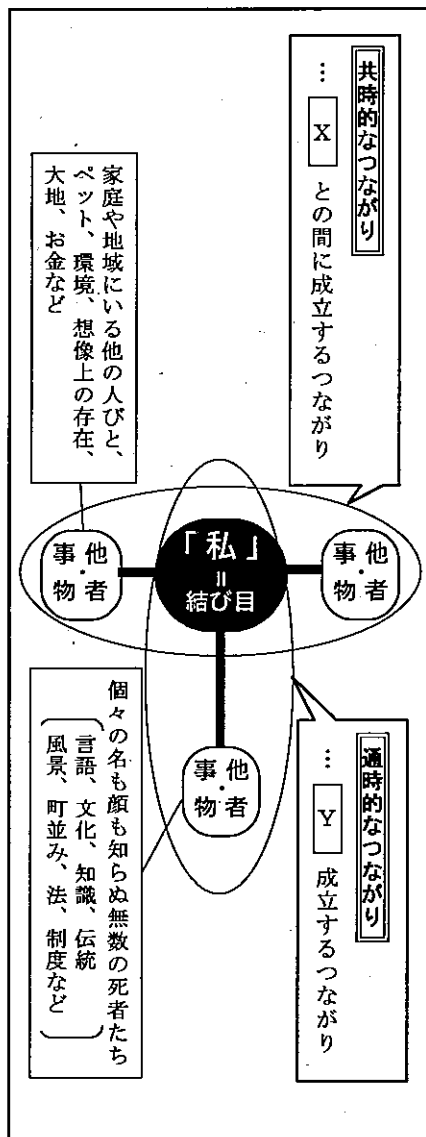
問一 二重傍線部A「シニリョウ」・B「ヒガン」・C「イトナ(み)」を漢字に改めよ。

問二 本文中の空欄I、IVには、「社会」と「個人」のいずれかの語が入る。それぞれの空欄に当てはまる語を書け。

問三 傍線部①とあるが、本文における「死体」と「死者」はどのように違うか、説明せよ。

問四 次に示すのは、傍線部②についてまとめた板書の一部である。空欄X、Yに当てはまる語句をそれぞれ二十五

字以内で書け。ただし、Xは本文中の語句を抜き出して書き、Yは適当な語句を考えて書くこと。



問五 傍線部③とあるが、それはなぜか。本文全体の内容を踏まえて説明せよ。

問六 本文の展開や表現の仕方について説明したものととして最も適当なものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。

ア 社会と個人の複雑な関係を読み取ることができるように、二項対立の構造を明示し、両者の共通点と相違点を整理しながら論を進めている。

イ 現代社会で「常識的」とされる考え方にに対して批判的な視点をもって読み進められるように、反復の表現を多用しながら論を構成している。

ウ 一般的認識に対して問題提起をした上で、筆者の主張をはっきり読み取ることができるように、具体的な例を挙げながら論を展開している。

エ 文章全体を論理的に読み進めることができるように、序論で仮説を立て、本論で複数の視点から検証を重ねながら結論へと結び付けている。